

愛玩 幼奴

玩賞用異族幼奴隷純愛本

有害菌類集会所

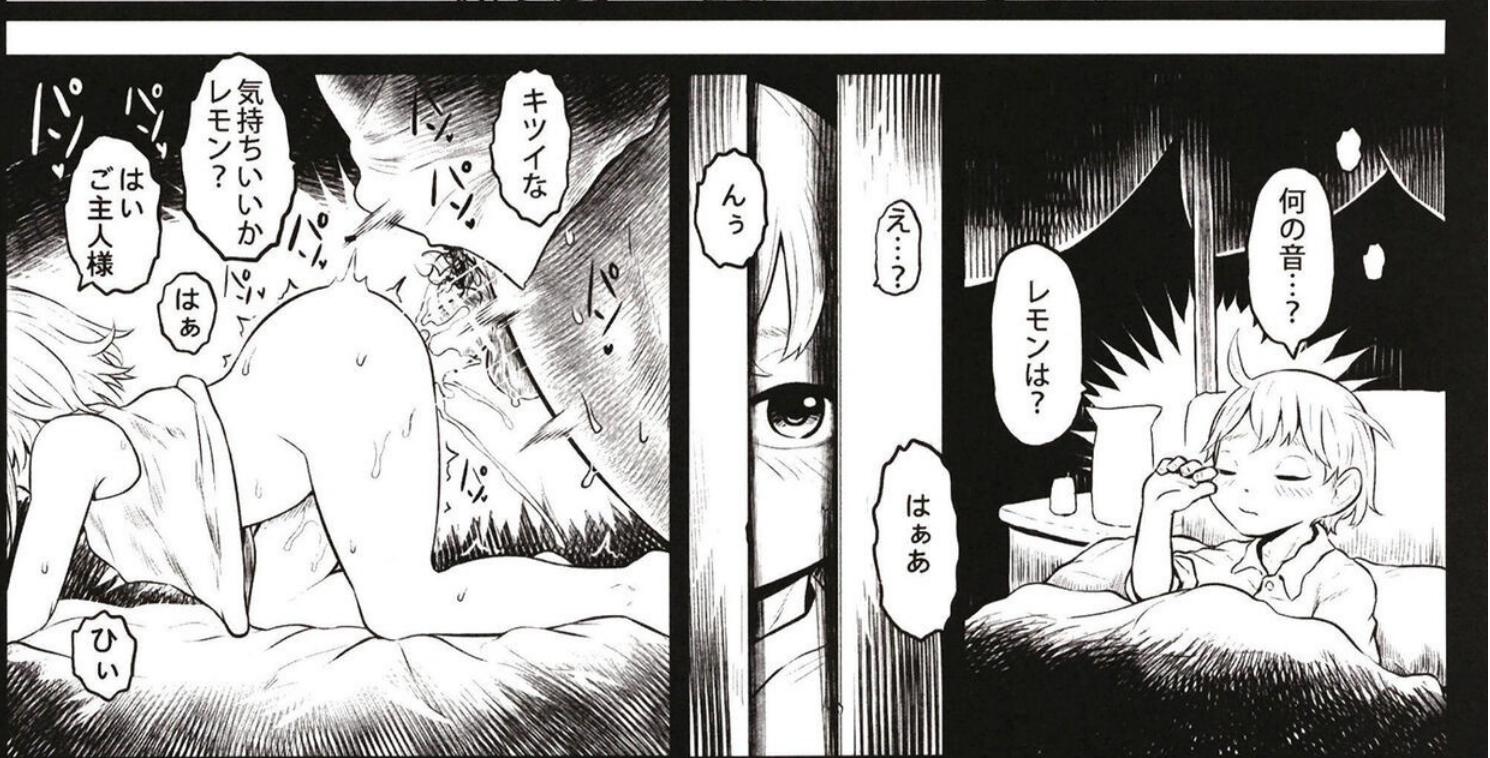
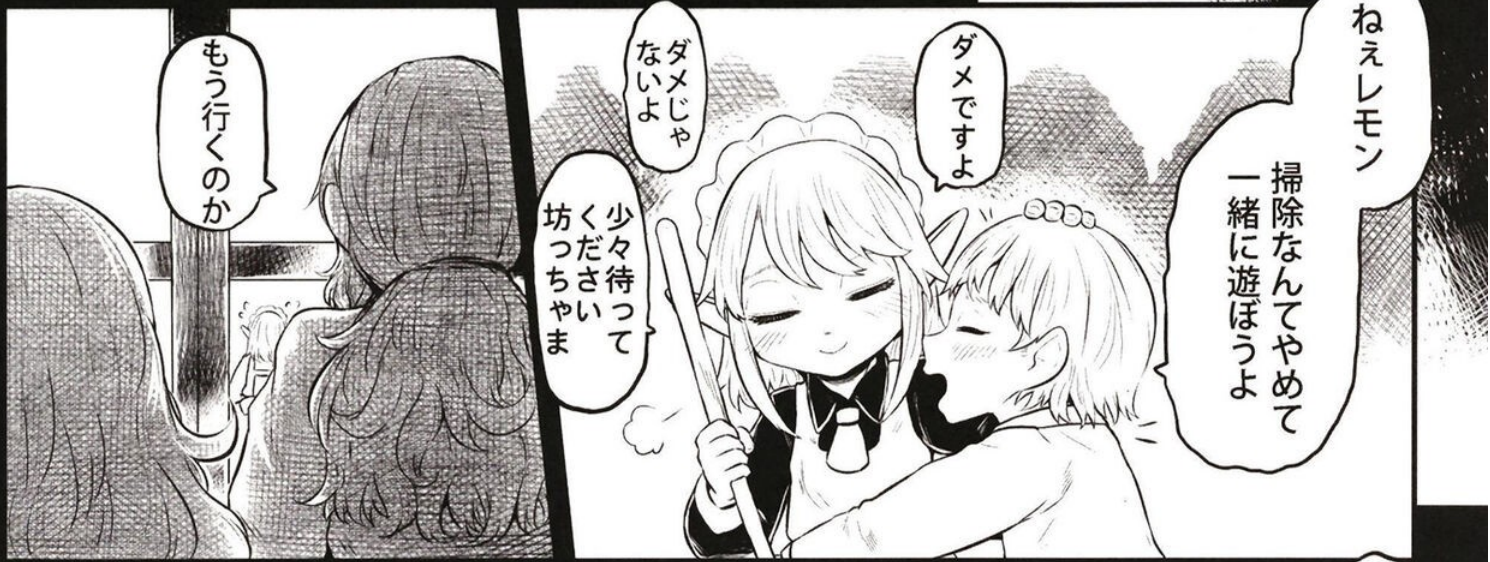
母娘幼奴・母

R-18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



愛玩幼奴。







うおおおおお!!

ふああああ! あっあっ!
ご主人様が入ってきてます...

ふうん ああああ

すごくよかったよ
もう一発やろう

お待ちを

んうああ

こんな時間にどうしたの
坊っちゃんま?

レモン
父上と何を...?

これは大人同士の
付き合いなんです
貴方にはまだ
早いですよ

どうした
レモン
いいえドアが
開いちゃって

お部屋に戻って下さい
坊っちゃんもう少しすれば
お傍に戻ります

今の事は大人になってから
教えて差し上げましょう

おやすみなさい
坊っちゃんま





まあせめて紹介は済ませていただけませんか

ム

いいだろう

ああレモン私だ私だよ

えヴィヴィル坊っちゃま？
こんなにご立派になっついていて…

レモン

世にも珍しいエルフとハーフリングのハーフで両方の長所を引き継いでいるんですよ家事も事務も得意とのことでお手の物なんです

それではご紹介いたします
こちらは最高級幼奴です
元々は殿下の御父上
カルロス伯爵殿が
所有していた幼奴で
シモンといひます

伯爵が亡くなった後貴方の御母上
である元カルテラ侯爵によって
ここに返品されそれから
ここでお世話になっていひます

そして…

出てきなさい

え？

はは

ほら前に出なさい

お母さん…

ええ…

紹介させて
頂きます



人間の貴族とエルフそして
ハーフリングの混血幼奴
ナスタチウムと申します
高貴な血筋から生まれた
優れた美貌と知性を備えております
今は訓練中でレモンと一緒に
ご購入いただけるようになっております

要するに
殿下の
妹様でございます

どどうも

ええ

あははは…

ちよっ

ええええ？

ええええ!!

ムムムこの金髪
確かに父上とは瓜二つ
こここれは…

こんなことまで
してかしたのか
父上…

うう…

えいそれでも
放つてはおけない

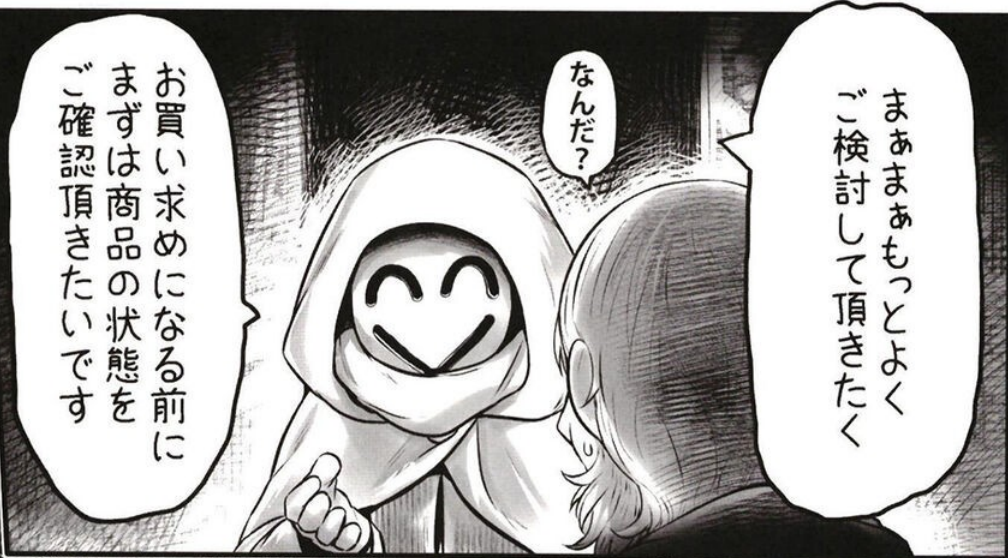
ナスタチウムと言ったな？
こいもつとよく
見せてもらおう

はい





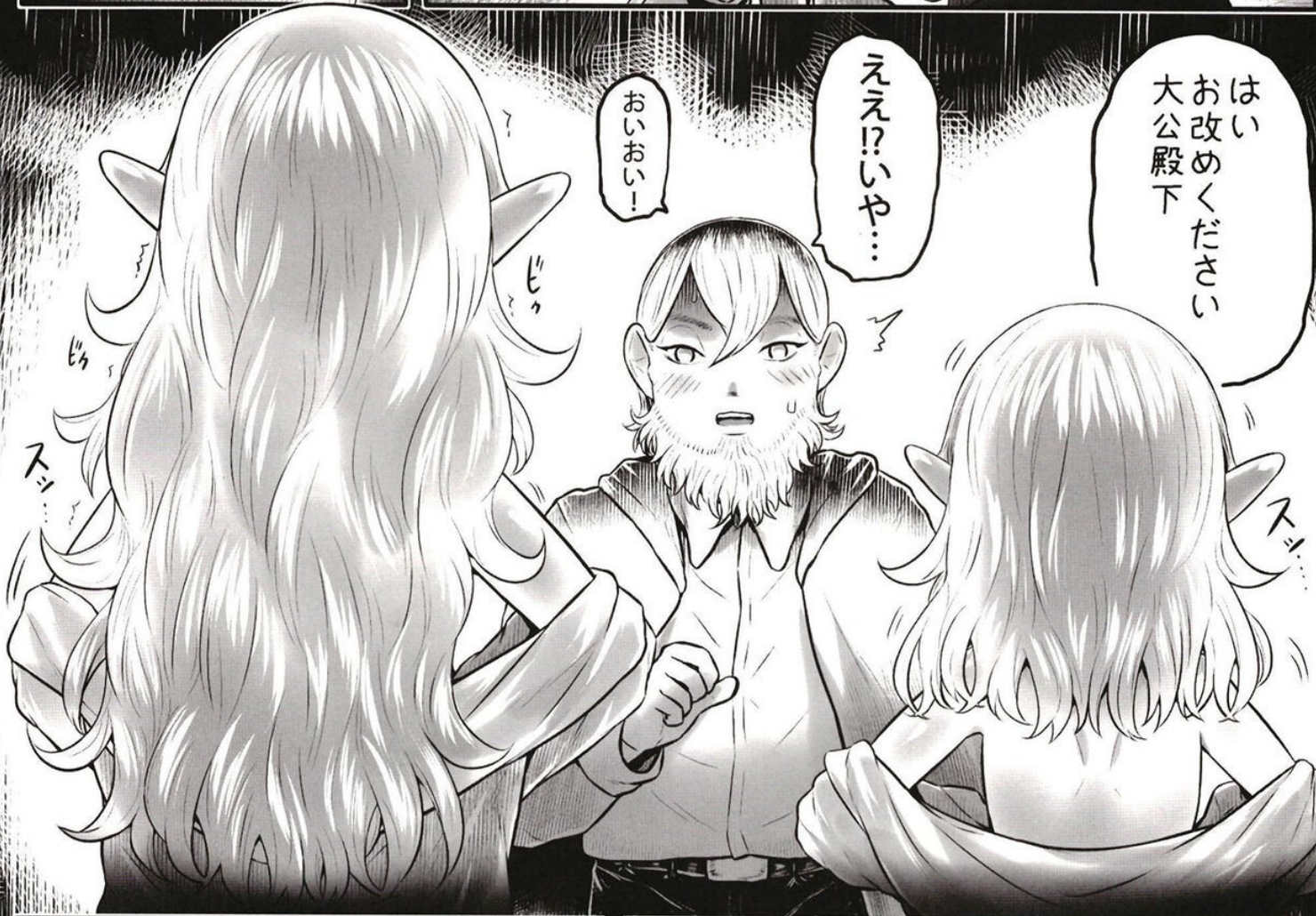
脱ぎなさい



なんだ？

お買い求めになる前に
まずは商品の状態を
ご確認頂きたいです

まあまあもつとよく
ご検討して頂きたく



おいおい！

ええ!!いや…

はい
お改めください
大公殿下



しかし僭越ながらいくつか先に
申し上げたいことがございます

ムムムム

どんな需要であろうと
ここの幼奴は必ず
お客様の期待に応えることを
お見せいたします



ご覧の通り商品に
絶対的な自信を持ち
取り扱う商品はすべて
完璧だと自負しております

種族や血統に関係なく
この子たちは奴隷です

家事をさせるのも良し
オナホールとして
使用するのも良しです

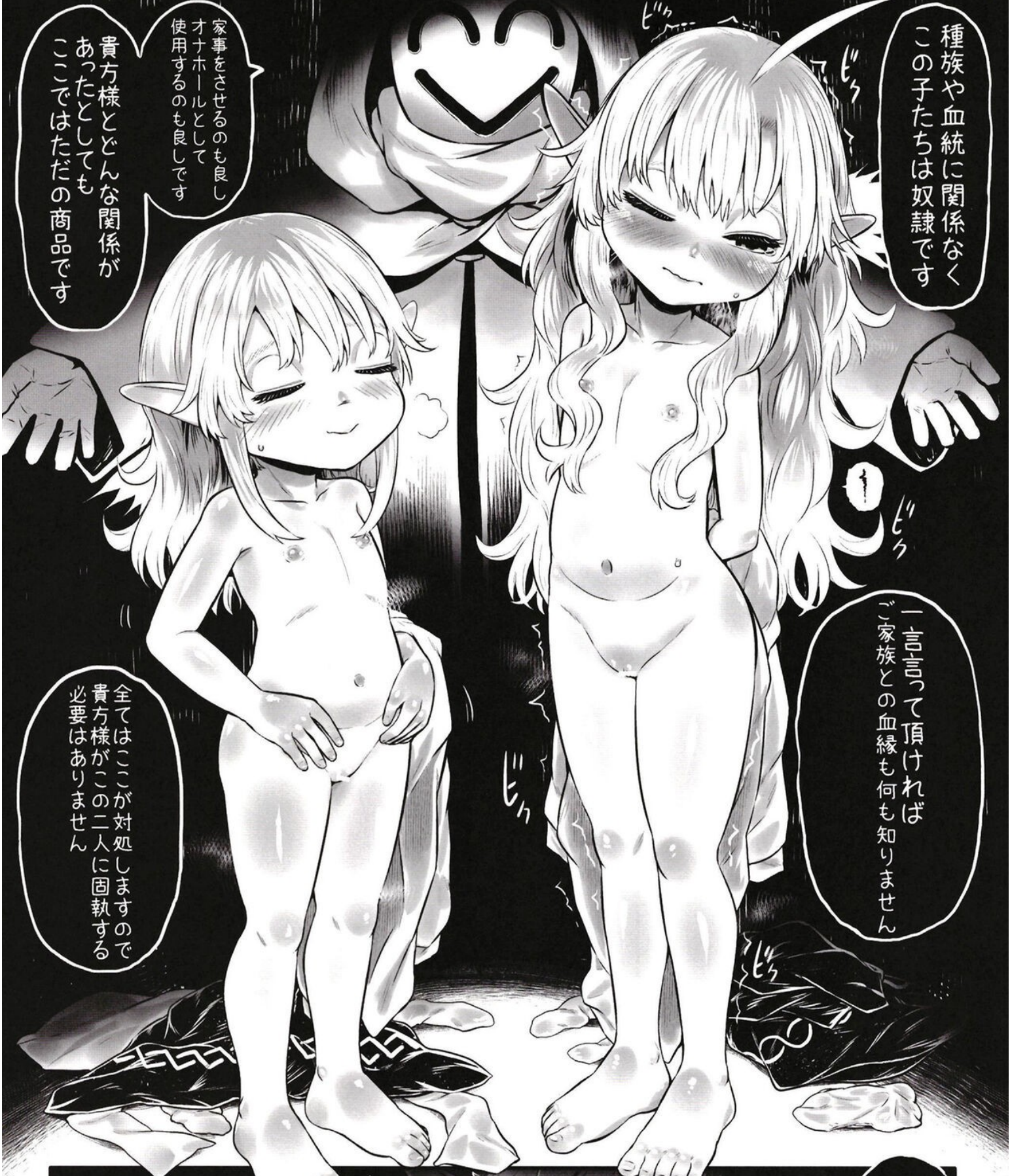
貴方様とどんな関係が
あったとしても
ここではただの商品です

一言言って頂ければ
ご家族との血縁も何も知りません

全てはここが対処しますので
貴方様がこの二人に固執する
必要はありません

貴方様の身分も
考慮ください

他の子を
見てみましょうか



フフン

私は
天下の大公だぞ

そんな細かいことを気にして
家族を路頭に迷わせるなんて
ありえない！
ましてやこんな場所に
放っておくなんて

ハッキリ言おう許せない！
今日は絶対この二人を連れ戻す！

さあ
レモンナスタチウム
家に帰るぞ！

はいご主人様

では
こちらの書類を…

ふふふ

あの子は運がいいね
いつもいいご主人に
巡り会えて

そうですよね

まあ

また会えるとは
よかったなレモン

妹も一人増えて

ごめんね坊主ご主人様
当時貴方は騎士の修行の途中で
家を去る前に一言も
言ってあげられませんでした

ははは

驚いたよ

...

それにしてもいきなりこんなに
可愛い妹ができてしまったな
どうしたものか...ナスタチウムか
これからはカブチーナと呼ぼう

より可愛い名前前に
しましたねご主人様

ナスタチウムなんて
父上が付けた名前
だろうなははっ

レモンは少しも
変わってないな
エルフの血筋は
侮れないね

ははそんなご主人様は
結構変わりましたね
十七年間立派になられて



ご主人様はまだ昔の屋敷にお住まいですか？

屋敷…城のことか？

今は都市で住んでいる全領地の振興を終えたばかりで大公邸に戻るところだったよ

アタシの見せ場もありそうですね
またご主人様に仕える機会を頂いて
ありがとうございます
これから数年間のアタシの成長を
期待してくださいね

ははっ暇な時の雑談でも
付き合ってもらえば十分だよ

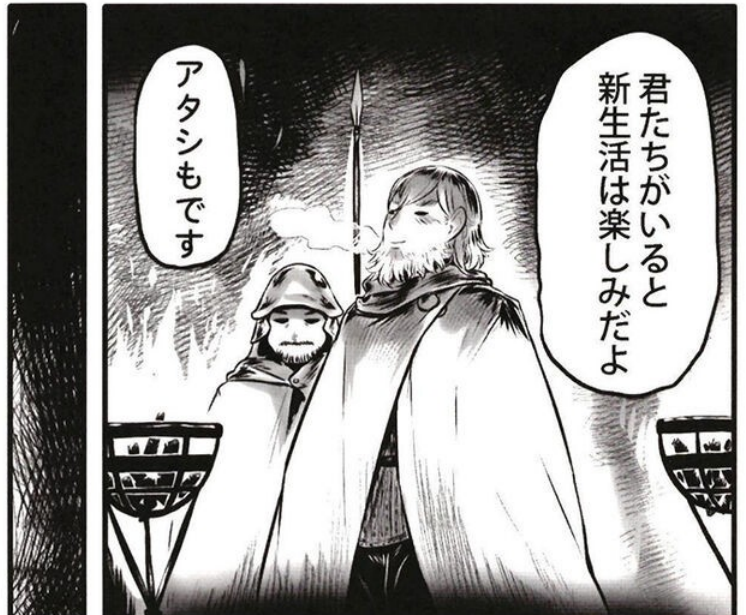
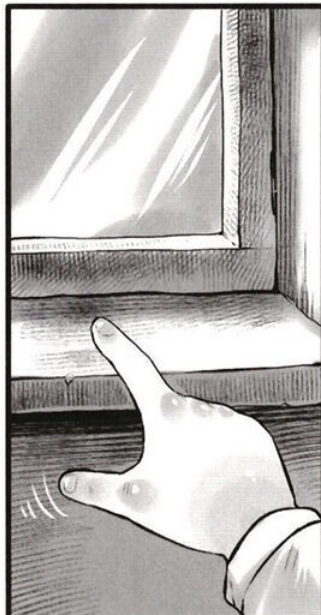
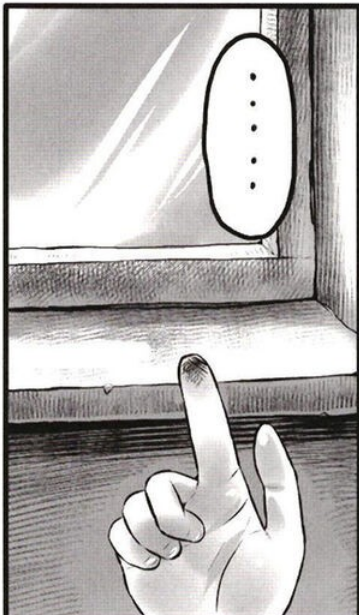
そうはいきませんよ

へへっ
まあ見てな

君たちがいると
新生活は楽しみだよ

アタシもです

……





あのご主人様
この屋敷のメイドの素養は
まだまだのように見えますけど？

ははっメイドは
ないよこは

この領地は栄えた
新しい商業モデルで運営していて
自宅の掃除などはいらないんだ

定期的にメイド組合の
派遣メイドに頼んでいるよ



なってなさすぎます



貴方は貴き
大公様ですよ
これじゃダメです

うげっそんなにも
真剣にならなくても

高位貴族は高位貴族らしく
振舞うべきです不肖レモン
只今よりこの大公邸の風紀を
正して見せます安心して
アタシにお任せください！

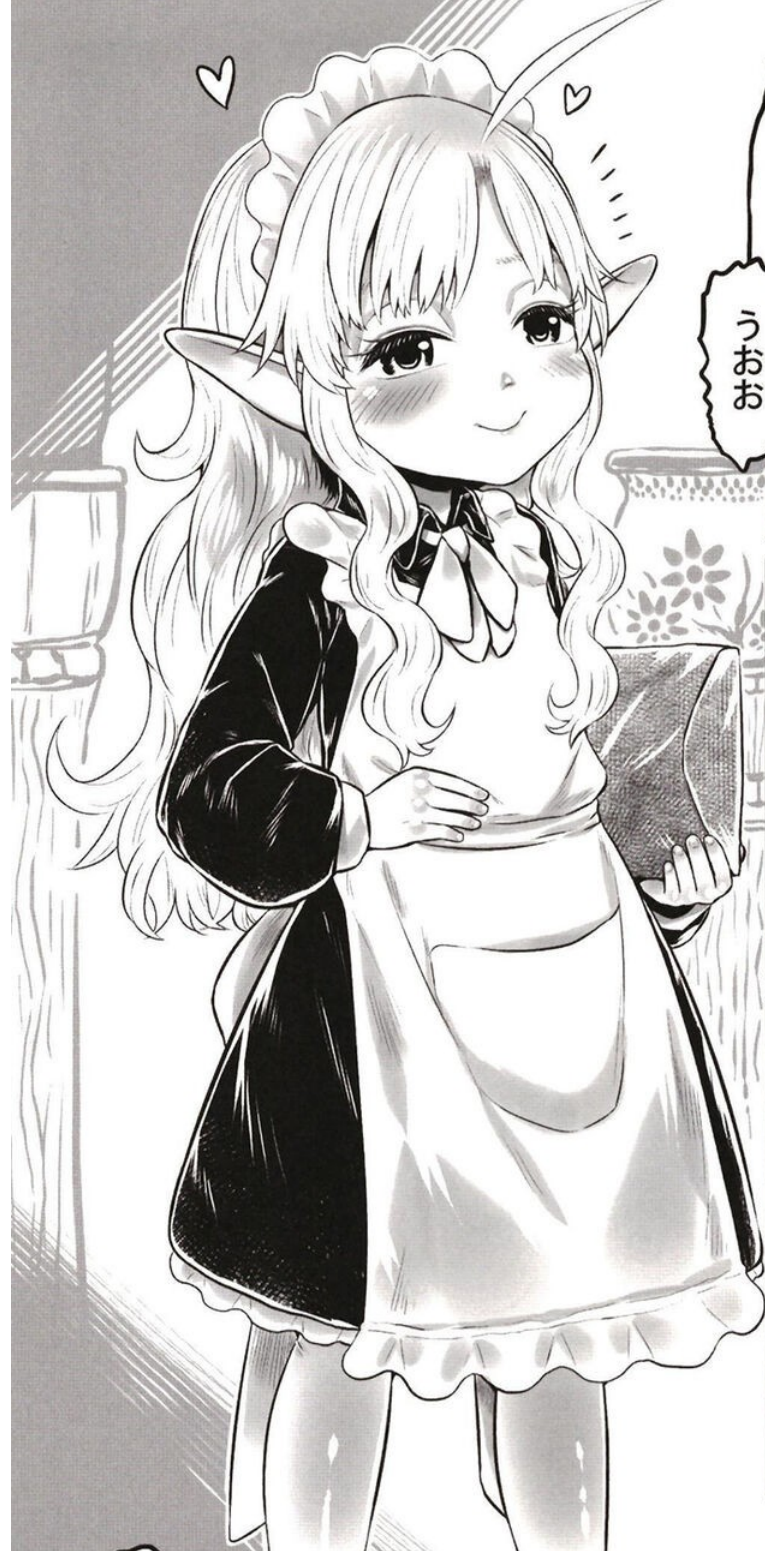


カプチーナはご主人様の
身辺の世話をしなさい！

おお

はい

可愛い



はあ外出期間に溜まった書類事務に取り掛かるうか…

はい書類は既に町の名前や時間順にまとめております

うおお



御主人様仰せつかった昼飯の用意はできております

早いな

じゃあ…

お風呂も沸いております



これでしたら

その部族の習わしからして返礼はキャンディーなど甘味が時計より喜ばれると思います

ふむなるほど



いやいやすごく助かっている疲れたかなと思っただけだよ

ああ申し訳ございません出過ぎた真似をしてしまってお許しください



こんな大量の仕事全部捌いたなんてすごくできた子だな年から想像もできん

カプチーナちゃん

朝から働き通しで疲れたりしてないか？少し休んだらどうだ？

本当ですか？
ありがとうございます
ご主人様！

ははは

これからは家臣や
騎士たちとの会議か

ウムムムム

妹だということは家臣たちに
打ち明かすわけにもいかないけど
ウチでの地位を
示さなければならぬが

隣に立たせていると位が見えてこないし
座らせたくても椅子も足りない
そうすれば…あそつだ

何故異族の娘が
大公の膝の上に!?

ここ数年のデータから見て
異族との貿易は確かに
安定した利益が得られる

そこで山の向うの異族の長を
ウチの領地での親善旅行に招待し
それから王都まで…

なんでそこに
座ってんだ？

身をもつて親善の意を
示しておられるのか

すっげー
気になる…

お飲み物を
用意してきましようか？

そうだな
お茶でも入れてくれ

なら茶菓子も
用意いたしましょう

おいあの異族の娘は
なんなんだ？

知りませんよ

人相からして
只ものではありません

どっかの
異族の姫とか？

そうそう

きっとお姫様だよ



あんなに親しみを持って膝の上に座らせてよ

ウチの大公の嫁候補か？

そうかもしれぬ

ないよりマシじゃろ

そうですな
喜ばしいことです
ははは

お茶飲もう



他の貴族からの持ちかけもないってさ
見る目がねえんだ

お若いのに領地を立派に治めていて王様が縁談を取り持つてくるんじゃないや？

知らんな

公爵様はまだ嫁を貰わんのかね？



山の向うから異族の姫を娶って来たりして

お嬢ちゃん
大公の所のメイドよね

安くしとくからさどうだい
我らが大公の色事の
一つや二つはないかい？

歓楽街にも行かない噂だよ？
趣味もわからないって

もうミステリアス
なんだからははは

ないですね

聞いてません

10

あつははは
領民たちはこう言っていたか
私も別に興味ないわけじゃ
ないけど

騎士修行の途中で父上が
いなくなり騎士になったら
今度は母上も病気で隠居したから

王様から両親の領地を
新米騎士の私に与えられ

そしたら新たにできた領地を
興すため財産をかなり使っていて
この数年間やと暇ができるように
なったばかりだ

も…申し訳ございません
坊っちゃんアタシが
不甲斐ないばかりに
ううう…

アタシの存在が坊っちゃんまの
継承の邪魔になると奥様が危惧し
アタシを店に帰しましたが

こんな大変な思いしてメイドも
知らない生活を強いられる事を
知っていたら強引にでも
貴方の傍に留まり
お支えすべきだったのに

坊っちゃんまあ
アタシの
坊っちゃんま

うん？ぼう…ご主人様？
どうして下の方が
お立ちになったのですか？

ググッ

アッハハハハ

私だって男だ女性に
抱きつかれたら反応もするだろう
しかもレモンから大人の情事を
教えてもらう約束もあるしな

あらご主人様
まだ覚えていらつしやるのですか
もう二十何年も前の話なのに

ふふ

ハハハ

でもアタシが相手だと
ご主人様は可哀想ですもの

今すぐ歓楽街に若い
女性を見繕ってきま
あつ

いや
歓楽街の女など
いらん!

えっそんなええ!?
まさか本当にアタシと!
アタシの操は既に先代に
捧げたし子供だつて…

ご主人様!

関係ない
レモンはレモンだ

ええ…

子供の頃レモンの身体を見てから
脳に焼き付けて忘れられないんだ
あの短い手足も柔らかい体も
全てレモンのせいだ

えええ

俺も普通の女を試したんだ
それでもレモンが忘れられない
多分父上と同じ癖が
身についてしまったんだ

いいえ
先代には他に理由があつて
貴方が違いますから
ご主人様

はあ
分かりました

アタシは身も心も貴方の
奴隷です。貴方さえ良ければ
アタシの身体でご主人様の全ての
欲望を満たして頂きましょう

過去の約束も
ありますしね



んっそれから…
あの…ご主人様？

あっ

レモンの体がいい匂いするんだ
もう少し堪能させてくれ

あっはっ

ん

あのご主人様
アソコは

あ

ん

女性の一番
プライベートな場所ですよ
そうすんすん嗅がないで
ください

フニン

レモンのここも
いい匂いするよ
甘い花のように

柔らかいね

ひっ

まま待つてください
ご主人様まって…

びび

びび

びび

びび

パンツを脱ぐ時間ぐらい
くださいよう

さアタシも
ご奉仕させていただきますね
アタシばかり気持ちよくなっていたら
無礼ですもの

ははいじゃないか
レモンも偶には
楽しめば

ダメ



しかし
これはまあ

うん？

先代よりもかなり遅しくって
すごいサイズですよ

はは

ふん

ああいれモン
おおあああ

ふむ

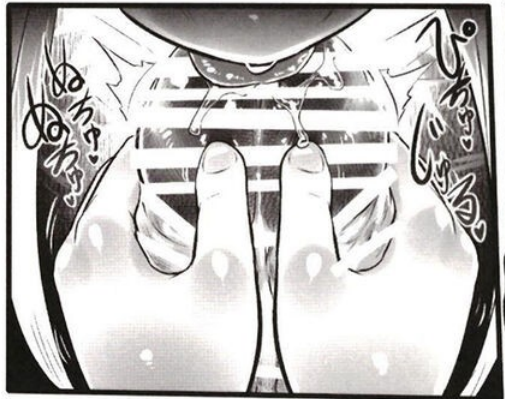
先代もこれが大好きですよ
ご主人様も最高級の奉仕を
たっぷり味わってください

おおお



気持ち良すぎて
腰が抜けちゃう...

わあレモンすっっっ



うああ!

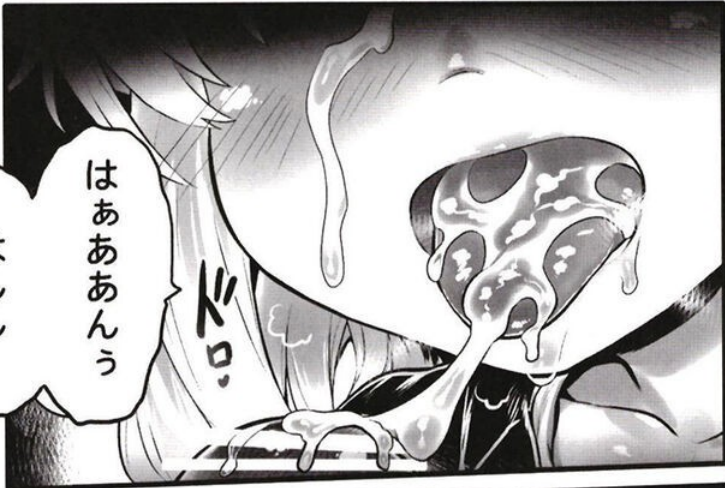
レレモンアツ

クウウツ





レモン!



はあああんう

はんん



の飲んだのか?

うん♡

ご心配なく
ご主人様の種を飲み込むことは
アタシら幼奴の本分ですから

ンぐきゆすごく濃いです
大分溜まってきましたね
ご主人様

どうなさい
ましたか?



きゃあ

ええ!?
ご主人様



エ口過ぎたんだよ
レモンは!
もう我慢できない!

んむッ!!

何を

まま待って下さい



わああん
そんな舐め方
変態すぎます
ほ坊っちやま



お待ちを

ずっと我慢してきた
このエロイ太ももや可愛いお尻が
毎日毎日目の前でブラブラして
そしてこのすべすべのマ●コ
今日はしゃぶりつくしてやる！

ダメですおしっこするところを
何を楽しんで舐めてますか

ヒアア
ポロポロ



あああ

ひあ...



いいね
中までびくびくして

ひゃっ

もうおしっこ
出ちやいそう

ひあああ
あああ

いけません
坊っちやま



いはい
ません

ほ坊っちやま



ぷわっ

ぷわっ

~~~~~



あのご主人様のおち●ぼが遅しすぎて

アタシの体じゃあ先端のこれくらいしか入れませんけどいいのですか？ご主人様

もちろん！

これはレモンとセックスができるから

興奮すぎてこんなにも硬くなったんだ

まあ

でしたらアタシも少しは責任を取らないときてご主人様アタシを自由にご利用ください

ああ  
すごい…

お風呂を付き添っていた頃はあんなに小さかったのにもうこんなに大きくなってカチカチになられて

へへっ

おお

愛玩幼奴レモンは準備が出来ましたよ



やわらかか...

入るぞ

あうい

レモン  
平気?

ふうん

大丈夫ですご主人様  
アタシのことはお構いなく

レモンの中は  
柔らかくて暖かい

これがカプチーナちゃんか  
生まれてきた所か?

やあ

言わないで  
ご主人様ひああ

一番奥はドロドロで  
きつく吸いついてきて  
すごく気持ちいいよ

ああ



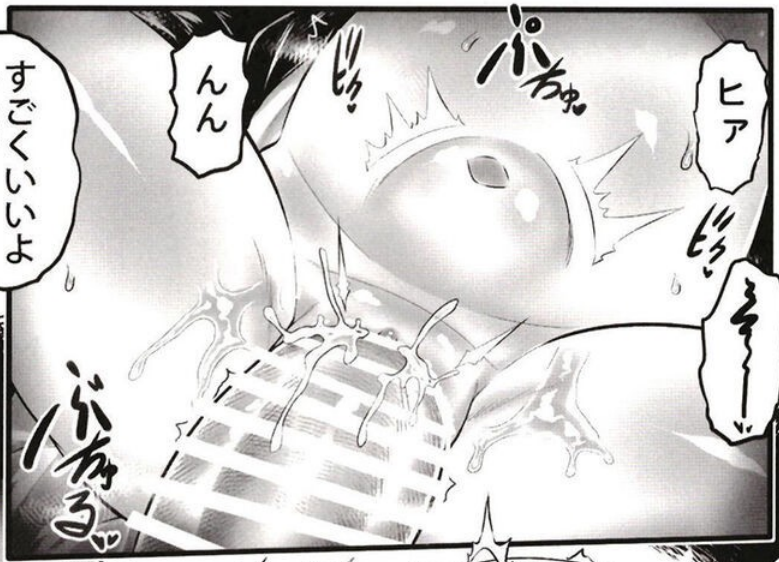
ひんう

ひん

アアタシも  
奥がご主人様ので  
いっぱいでああ

すごくいいよ  
レモン

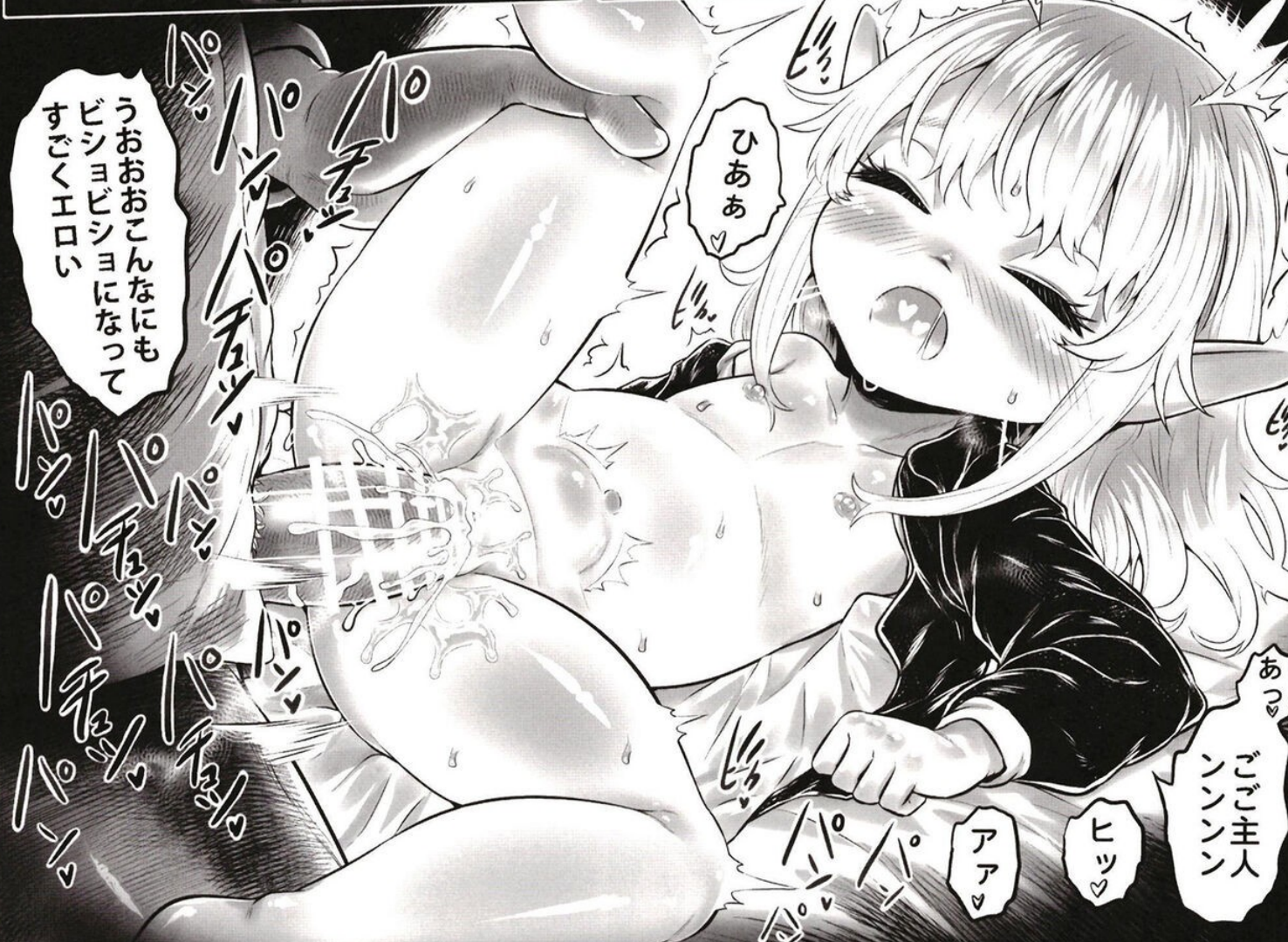
ぶん



ヒア

ん

ん



うおおおこんなにも  
ビショビショになって  
すごくヒロイ

ひああ

あつ  
ご主人  
ンンン

アア

ヒッ



ヤバイクセになりそう  
この吸い付きにこの感触  
気持ち良すぎる

こんな小さい身体に  
これほどのマ●コ  
すごすぎるよレモン

アア

ひん

ん







はんん

んん

おおん

まあご主人様ったら溢れかえっちゃいましたね

はは

はあ



あららまあまあ



よかったぞこれからはよろしくなレモン

はい

明日もお仕事ではなくって?

もう一発どう?

そんなこと言っなよ



もう一人世話が必要な子供がいることを忘れるところでした



……



休日になったら好きなことを思う存分お楽しみください。今日はお休みなさってください。

シーツも取り替えておきますね

うん

## FREE TALKING

お買い上げありがとうございます。毒茸人です。  
今回の内容は長い間考えてたオリジナルシリーズ  
《愛玩幼奴ーレモン/ナスチウム》の前編になります。  
世代を超えて再び家族の主を仕えることになった  
長寿幼奴と先代との間でできた隠し子の妹の組み合わせ  
を試してみました。お気に入りいただければ幸いです。  
再び感謝致します。毒茸人でした。

ページ数が足りないので本編の設定をここに書きます。

**ラミタン王国**：中央大陸辺境に位置する歴史ある人間の国である。異族の領土とは山脈で隔てられており、近年では山脈に接する古来からの異族との緊張関係を保ちながら、二つの領地を一つの公爵領に統合し、異族との貿易を踏み切り、平和な関係を築くための政策を取っている。

**ハフリング**：人間によく似たが身長が低い種族である。一般的なハフリングの成年男性の身長は成熟した人間の腰の高さほどしかない。ドワーフや人間の街に住んでおり、文化やライフスタイルも人間とよく似ているため、異族とは見なされないことが多い。

**世にも稀なエルフのハーフ**：ハーフリングは伝統的に家庭を非常に重視し、他種族との交流を避ける傾向がある。また、上半身の構造が長距離移動に適しておらず、寿命も人間などと比べても短いため、エルフなど種族との交配は非常に稀である。そのため、エルフもハーフリングも一般的な種族だが、レモンのようなハーフは非常に珍しい存在である。

発行 有害菌類集会所  
(有害菌類集会所)  
毒茸人(香菇人(MIMIC))

PIXIV : id=357039

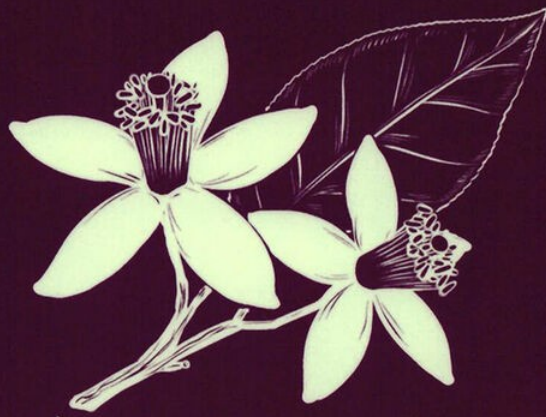
twitter : @MIMIT48648860

印刷:大陽出版株式会社

日本初版:C102(2023夏)

毒茸人.  
mimic  
2023.8.





Limón.